

ドラッグストア店内を再現した  
シミュレーションルームを設置

城西大学薬学部内に先頃、ドラッグストア店内を再現したシミュレーションルームがオープンした。これまでも教室内の一部で、ドラッグストアの取り扱い商材を配置し、研修に利用していたが、薬事法改正に伴うOTC医薬品の新たな販売制度が6月にスタートしたのに合わせ、大幅にリニューアルした。

「学生の将来に必ず役に立つと思う」と話す白幡教授



城西大学薬学部

カウンセリング能力や  
商品知識を学ぶ場に

社会に要望される医療人としての薬剤師育成が叫ばれる中、城西大学薬学部は「薬学科」(薬剤師養成課程6年制)

のほか、機能性をもつ食品や化粧品・医薬品の研究開発のスペシャリストを育成する「薬科学科」、そして「医療栄養学科」(管理栄養士養成課程4年制)を有している。同ルームは薬学科の学生だけでなく、他の学科の学生

も、講義等で活用している。

シミュレーションルームは30坪ほどだが、実際の100~150坪タイプのドラッグストアで取り扱う医薬品、健康食品、化粧品、医療衛生雑貨、トイレタリー商品、介護用品、ペット関連といった商材が、キメ細かく揃えられている。

商品類(医薬品の一部は空箱)の提供とアドバイス、陳列や構成などで全面的に協力したのが、都内を中心にドラッグストアを展開する「いわい」(東京都豊島区)。同社の薬剤師・栄養士が講師となって、今春から「医薬品情報マネジメント概論」の講義も行われており、この一環としても同ルームの充実が図られた。

薬学部の白幡晶教授は「メンタル面も含めて、実務的要素がこれからの薬学教育には欠かせない。生活者と薬剤師の接点が密接になることが、地域の生活者のQOLをマネジメントする上でも重要。今後はカウンセリング能力の高さも、医療系人材には必要とされており、シミュレーションルームを用いた販売実務の講座が、学生にとって将来的に必ず



薬学科のほか薬科学科、医療栄養学科の学生も店頭実務を学ぶ

役に立つと思う」と話す。

いわい執行役員で、城西大学非常勤講師の石原義光氏は「『正露丸の主成分は?』『かぜの11の諸症状は?』と聞かれて、果たしてどれぐらいの学生が答えられるか。生活者が知っている薬の名前も同様。勤務先がドラッグストアでなくても、商品知識を知ってもらいたい。もっと生活者の視点に立った、生活者に役立つ薬剤師教育が必要。地域の身近な健康に携わるインフラとしてのドラッグストアが、医療に関わる分野で活躍する人材育成の一端を担うことは、その地域で成長した私どもの社会的責任であると考えている」としている。

城西大学薬学部では今年3月、春休みを利用して「コミュニティファーマシーインターンシップ」プログラムを実施した。日本チェーンドラッグストア協会の協力で、加盟企業の店舗において新4年生が医薬品販売の現場を体験したが、インターンシップには200人以上の学生が参加したという。薬学部では、今後も実践的な教育を積極的に取り入れていく計画だ。



品揃えは150坪クラスのドラッグストアに匹敵

新たな一般用医薬品販売制度の施行に対応!

OTC DRUG Searcher

DVD版・CD版

定価: 5,250円(税込)

メンテナンス1回 1,050円(税込)

新しい一般用医薬品販売制度の施行により、購入者に対して一般用医薬品の適正な選択・使用を支援するため、販売時及び相談時の情報提供を適切に行う体制・環境の確保が求められることになりました。

OTC DRUG Searcherは、この新制度に対応するため、情報提供に必要な「情報提供文書の印刷」や、「添付文書の閲覧」「販売手順マニュアル」など多彩な機能を備えています。また、ASP方式(チェーン薬局向け)もあります。

主な機能

- 購入者に渡す「情報提供文書」の印刷
- 添付文書(約12,000品目)の検索・閲覧・印刷
- 販売手順マニュアルで適正な販売・相談応需・服薬指導が可能
- 一般用医薬品と医療用医薬品との相互作用チェック

《ASP方式のお問合せ》

株式会社 日本メディコム URL <http://www.nihon-medicom.co.jp/>  
電話 03-5641-9050 FAX03-5641-9053

《制作・発売元》

株式会社 薬事日報社  
<http://www.yakuji.co.jp/>

※DVD版(1枚)/CD版(6枚組み)の内容は同じです。  
※メンテナンスは月1回。ご希望時に購入できます。  
※Windows Vista、XP対応

注文専用 FAX 03-3866-8408